

携帯メール使用と社会的動機の関係

情報システム工学科 3年 035 武田 充史

I) 研究の概要

携帯電話の接し方にどんな欲求や社会的動機が反映されているのか、それをもとに精神的要因に応じて人々が頻繁に利用する機能、求める機能を調査する。こういった性格の人はこういった機能のついた携帯電話を求めているという関連性を分析し、人々の性格に応じた携帯電話の作成は必要なことなのかということを考える。

II) 調査方法

50 問の質問を作成し、その内容を

I : 心理的依存性

II : 過剰な利用

III : 脱対人コミュニケーション

の3つに分類(参考: 吉田 2005)

この結果と EPPS、欲する機能との関連を因子ごとに分析する。

～EPPSとは?～

個人の社会的動機を評価し、数値化する。225 問の質問に答えることで、15 の欲求(達成・追従・秩序・顕示・自律・親和・他者認知・救護・支配・内罰・養護・変化・持久・異性愛・攻撃)のどの欲求が強いかわかるか判断ができる。

III) 分析方法

上位と下位の得点の差を見るために、数値で表される EPPS では t 検定(2 層平均)を、記号で表される機能に関しては直接確率検定を利用。

IV) 調査結果

点数の高い項目について記す。

○心理的依存性

<EPPS>

- ・異性愛動機が高い
- ・達成動機が低い
- ・秩序動機が低い

<機能>

- ・携帯電話を買うときデザイン性を重視
- ・絵文字、デコメール機能を不可欠とする傾向がある

○過剰な利用

<EPPS>

※関連性は見られなかった

<機能>

- ・カメラ、ムービー機能を不可欠とする
- ・なくした携帯電話の位置がわかる機能が欲しいと思っている
- ・お財布ケータイ機能は必要ない
- ・絵文字、デコメール機能を不可欠とする傾向がある
- ・携帯電話を選ぶとき機能性を重視する傾向がある

○脱対人コミュニケーション

<EPPS>

- ・達成動機が低い
- ・自律動機が低い
- ・親和動機が高い
- ・求護動機が高い
- ・支配動機が低い
- ・攻撃動機が低い

<機能>

- ・携帯電話を選ぶときデザインを重視
- ・カメラ、ムービー機能を不可欠としている傾向がある

- ・テレビ電話機能は必要ない

以上のような傾向が見られた。